



日本平和博物館会議とは

日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

日本は世界で一番「平和博物館」の多い国です。現在、そのうちの10館が「日本平和博物館会議」に加わっています。

この会議は、戦争の悲惨さを人々に伝え、平和の実現のために役立つよう、協力して調査や研究を行い、平和推進事業を発展させることをめざして1994年に結成されました。さらに、戦争の被害や加害の問題だけでなく、貧困・差別・環境問題など、人々の能力が豊かに花開くことを妨げているさまざまな社会的暴力を克服するために、実物資料や写真や解説パネルを展示し、来館者に平和創造のための努力への参加を呼びかけています。来館者数は、これら10館あわせて、年間およそ400万人に達します。

対馬丸記念館

2004年設立

対馬丸事件の犠牲者の鎮魂と、子供たちに平和と命の尊さを教え、事件を正しく後世へ伝えるために設立されました。

ひめゆり平和祈念資料館

1989年開館

ひめゆり学徒の戦争体験を通し、戦争の悲惨さと平和の尊さ、教育の大切さを訴えるために設立されました。

沖縄県平和祈念資料館

1975年設立

戦死者の半数を占める約94,000人が一般市民であった沖縄戦の歴史的教訓を正しく次世代に伝えるために設立されました。

長崎原爆資料館

1996年開館

被爆の惨状をはじめ、原爆が投下されるに至った経緯、及び核兵器開発の歴史、平和希求などストーリー性のある展示を行っています。

立命館大学

国際平和ミュージアム

1992年設立

立命館大学の教学理念「平和と民主主義」を具体化するとともに、蓄積してきた平和教育・平和研究を発展させるために設立されました。

埼玉ピースミュージアム (埼玉県平和資料館)

1993年設立

風化しつつある戦争の体験を引き継ぎ、平和に対する意識の高揚を図り、平和な社会の発展に寄与することを目的に設立されました。

川崎市平和館

1992年設立

市民の平和に対する理解を深めるとともに、交流及び平和活動を推進し、平和都市の創造と恒久平和の実現に寄与するために設立されました。

あーすぷらざ(神奈川県立地球市民かながわプラザ)

1998年設立

国際理解や国際平和、地球規模の課題について、考え、行動していくための総合施設として設立されました。

ピースおおさか

(大阪国際平和センター)

1991年設立

大阪空襲の犠牲者を追悼するとともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝え、世界の平和に貢献することを目的に設立されました。

広島平和記念資料館

1955年設立

原爆による被害の実相を世界中の人々に伝え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するため設立されました。

